

令和2年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	千葉県	市町村類型	II-2	指定団体等の指定状況		区分		令和2年度(千円)	令和元年度(千円)	区分		令和2年度(千円・%)	令和元年度(千円・%)				
				財政健全化等	×	歳入総額	34,964,424			26,053,183	実質収支比率			7.0	9.6		
市町村名	袖ヶ浦市	地方交付税種地	2-5	財源超過	○	歳出総額	33,581,257	24,015,930	経常収支比率	89.9	95.1	(89.9)	(95.1)				
				首都	○	歳入歳出差引	1,383,167	2,037,253	(※1)								
				近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	312,793	608,592	標準財政規模	15,373,980	14,928,641						
人口	令和2年国調(人)	63,883	産業構造(※5)	中部	×	実質収支	1,070,374	1,428,661	財政力指数	1.13	1.12	6.9	6.2				
	平成27年国調(人)	60,952		過疎	×	単年度収支	-358,287	865,891	公債費負担比率	6.9	6.2						
	増減率(%)	4.8		山振	×	積立金	715,049	282,168	健全化判断比率								
住民基本台帳人口(※7)	令03.01.01(人)	64,940	第1次	低開発	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-	1.7	1.0				
	うち日本人(人)	64,046		指数表選定	○	積立金取崩し額	324,901	1,817,545	連結実質赤字比率	-	-						
	令02.01.01(人)	64,348	第2次			実質単年度収支	31,861	-669,486	実質公債費比率	7.3	16.9			7.3	16.9		
	うち日本人(人)	63,473				基準財政収入額	11,977,192	11,577,470	資金不足比率(※4)								
	増減率(%)	0.9	第3次			基準財政需要額	10,724,433	10,238,914									
	うち日本人(%)	0.9				標準税収入額等	15,373,980	14,928,641									
面積(km ²)	94.93				経常経費充当一般財源等	14,350,307	14,683,011										
人口密度(人/km ²)	673				歳入一般財源等	19,440,769	19,287,612										
世帯数(世帯)	25,430																
職員の状況																	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	15,031,255	14,933,096						
	市区町村長	1	8,500		一般職員	539	1,585,199	2,941	うち公的資金	11,090,376	11,268,730						
	副市区町村長	1	7,400		うち消防職員	117	317,889	2,717	債務負担行為額(支出予定額)	5,510,519	3,602,851						
	教育長	1	6,800		うち技能労務職員	-	-	-	収益事業収入	-	-						
	議会議長	1	4,600		教育公務員	23	82,320	3,579	土地開発基金現在高	851,707	851,678						
	議会副議長	1	4,200		臨時職員	-	-	-	財政調整基金	2,470,701	2,080,553						
	議会議員	20	4,000		合計	562	1,667,519	2,967	積立金現在高	351,083	1,082						
						ラスバイレス指数			100.5	減債基金							
										その他特定目的基金	1,245,200	1,328,978					
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	(※3)											
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名										
(1) 一般会計		(2) 袖ヶ浦市国民健康保険特別会計		(5) 袖ヶ浦市下水道事業会計		(6) 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)	(16) 袖ヶ浦市土地開発公社										
		(3) 袖ヶ浦市介護保険特別会計				(7) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)											
		(4) 袖ヶ浦市後期高齢者医療特別会計				(8) 千葉県市町村総合事務組合(千葉自治研修センター特別会計)											
						(9) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)											
						(10) 君津中央病院企業団(病院事業特別会計)											
						(11) かずさ水道広域連合企業団(用水供給事業)											
						(12) かずさ水道広域連合企業団											
						(13) 君津都市広域市町村圏事務組合(一般会計)											
						(14) 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)											
						(15) 千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)											

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、令和元年度は「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を、令和2年度は「減収補填債(特例分)」「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)					地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	14,237,589	40.7	13,678,315	85.7	普通税	13,678,315	96.1	183,632	
地方譲与税	380,900	1.1	380,900	2.4	法定普通税	13,678,315	96.1	183,632	
利子割交付金	6,841	0.0	6,841	0.0	市町村民税	4,957,989	34.8	183,632	
配当割交付金	41,043	0.1	41,043	0.3	個人均等割	116,900	0.8	-	
株式等譲渡所得割交付金	50,128	0.1	50,128	0.3	所得割	3,633,180	25.5	-	
分譲課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	232,643	1.6	-	
地方消費税交付金	1,336,046	3.8	1,336,046	8.4	法人税割	975,266	6.8	183,632	
ゴルフ場利用税交付金	80,763	0.2	80,763	0.5	固定資産税	8,051,093	56.5	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	8,024,173	56.4	-	
自動車取得税交付金	5	0.0	5	0.0	軽自動車税	186,601	1.3	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	480,249	3.4	-	
自動車税環境性能割交付金	24,832	0.1	24,832	0.2	鉱産税	-	-	-	
法人事業税交付金	119,263	0.3	119,263	0.7	特別土地保有税	2,383	0.0	-	
地方特例交付金	105,170	0.3	105,170	0.7	法定外普通税	-	-	-	
個人住民税減収補填特例交付金	88,701	0.3	88,701	0.6	目的税	559,274	3.9	-	
自動車税減収補填特例交付金	11,769	0.0	11,769	0.1	法定目的税	559,274	3.9	-	
軽自動車税減収補填特例交付金	4,700	0.0	4,700	0.0	入湯税	372	0.0	-	
地方交付税	25,452	0.1	-	-	事業所税	-	-	-	
普通交付税	-	-	-	-	都市計画税	558,902	3.9	-	
特別交付税	24,793	0.1	-	-	水利地益税等	-	-	-	
震災復興特別交付税	659	0.0	-	-	法定外目的税	-	-	-	
(一般財源計)	16,408,032	46.9	15,823,306	99.1	旧法による税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	9,429	0.0	9,429	0.1	合計	14,237,589	100.0	183,632	
分担金・負担金	71,235	0.2	882	0.0					
使用料	197,191	0.6	101,392	0.6					
手数料	209,731	0.6	-	-					
国庫支出金	11,192,214	32.0	-	-					
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-					
都道府県支出金	2,262,254	6.5	-	-					
財産収入	30,926	0.1	19,604	0.1					
寄附金	69,523	0.2	-	-					
繰入金	411,901	1.2	-	-					
繰越金	2,037,253	5.8	-	-					
諸収入	719,176	2.1	6,188	0.0					
地方債	1,345,559	3.8	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち猶予特例債	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	-	-	-	-					
歳入合計	34,964,424	100.0	15,960,801	100.0					

区分		令和2年度	令和元年度
徴収率	現	99.5	98.1
計	市町村民税	99.2	97.8
(%)	年	99.6	98.3
	純固定資産税	99.6	98.1

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	2,709,625	実質収支	90,418
下水道	477,063	再差引収支	-30,297
病院	279,466	加入世帯数(世帯)	8,569
上水道	148,005	被保険者数(人)	13,404
駐車場整備	7,054	被保険者	93
国民健康保険	503,779	1人当り	-
その他	1,294,258	保険料(料)収入額	309
		国庫支出金	-
		保険給付費	-

(注釈)
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況 (単位 千円・%)					
目的別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	256,188	0.8	-	256,188	
総務費	10,686,802	31.8	592,930	3,402,996	
民生費	9,018,503	26.9	122,314	4,474,184	
衛生費	3,060,322	9.1	98,798	2,562,452	
労働費	1,107,000	0.0	-	1,107	
農林水産業費	1,138,508	3.4	646,951	556,223	
商工費	561,112	1.7	-	352,992	
土木費	2,680,264	8.0	1,204,077	1,549,400	
消防費	1,143,792	3.4	66,490	1,112,090	
教育費	3,589,576	10.7	410,069	2,388,593	
災害復旧費	96,458	0.3	-	52,752	
公債費	1,348,625	4.0	-	1,348,625	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	33,581,257	100.0	3,141,629	18,057,602	

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	12,439,107	37.0	8,116,408	8,090,381	50.7
人件費	5,351,111	15.9	5,054,889	5,033,604	31.5
うち職員給	3,569,905	10.6	3,380,092	-	-
扶助費	5,739,371	17.1	1,712,894	1,708,152	10.7
公債費	1,348,625	4.0	1,348,625	1,348,625	8.4
元利償還金	1,348,625	4.0	1,348,625	1,348,625	8.4
内 うち元金	1,247,400	3.7	1,247,400	1,247,400	7.8
訳 うち利子	101,225	0.3	101,225	101,225	0.6
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	17,904,063	53.3	9,057,986	6,259,926	39.2
物件費	5,262,936	15.7	4,039,792	3,569,355	22.4
維持補修費	214,972	0.6	212,588	212,588	1.3
補助費等	9,110,233	27.1	2,125,870	1,130,764	7.1
うち一部事務組合負担金	165,051	0.5	165,051	114,655	0.7
繰出金	1,805,091	5.4	1,502,650	1,347,219	8.4
積立金	1,068,272	3.2	1,067,341	-	-
投資・出資金・貸付金	442,559	1.3	109,745	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	3,238,087	9.6	883,208	-	-
うち人件費	71,538	0.2	71,538	-	-
普通建設事業費	3,141,629	9.4	830,456	-	-
うち補助	1,745,314	5.2	231,871	-	-
うち単独	1,344,247	4.0	580,657	-	-
災害復旧事業費	96,458	0.3	52,752	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	33,581,257	100.0	18,057,602	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和2年度 千葉県袖ヶ浦市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	35,049	33,666	1,383	1,070	412	15,031	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298</							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

令和2年度

千葉県袖ケ浦市

人口	64,940	人(R3.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	64,046	人(R3.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	94.93	km ²	実質公債費比率	1.7	%
歳入総額	34,964,424	千円	将来負担比率	7.3	%
歳出総額	33,681,267	千円			
実質収支	1,070,374	千円	市町村類型	H28 II-2 H29 II-2 H30 II-2 R01 II-2 R02 II-2	
標準財政規模	15,373,980	千円	(年度毎)		
地方債現在高	15,031,255	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

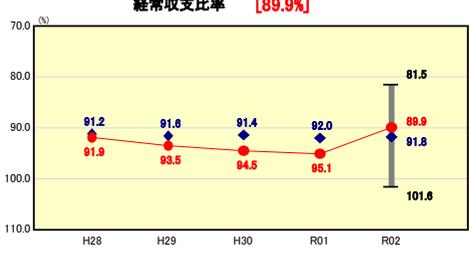
財政力



財政力指数の分析欄

財政力指数については、歳入面で、市税収入が堅調に推移したことから、0.01ポイント上昇した。
 臨海部の大企業からの税収により、類似団体と比較し、依然として高い水準を維持しているが、新型コロナウイルス感染症により社会情勢の先行きが不透明であるため、持続可能な財政運営を継続していくために投資的経費の抑制や、経常経費の見直し等歳出削減に取り組み、財政の健全化を図る。

財政構造の弾力性



経常収支比率の分析欄

経常収支比率については、個人住民税や固定資産税などの歳入増のほか、下水道事業会計の地方公営企業法適用に伴う繰入金などの歳入減により、5.2ポイント改善した。
 一方で、充実した公共施設の維持管理費や、類似団体と比較して人件費等が高い水準にあるほか、今後は、庁舎の建替え等に伴って公債費の増加が見込まれているので、財政の弾力性を維持するため、人件費を含め経常経費の削減に努める。

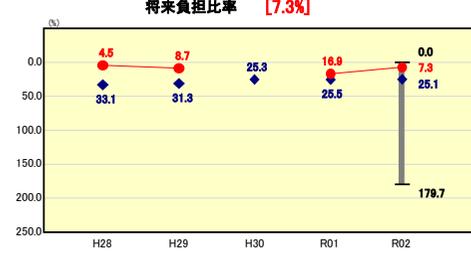
人件費・物件費等の状況



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人口一人当たりの人件費は、類似団体と比較すると、消防部門や教育部門において職員数が多いことから高い傾向にある。さらに、会計年度任用職員制度が開始されたことで報酬等がベースアップし、人件費増の要因となっている。加えて、令和元年度の台風災害対応による時間外勤務手当が増大した分が減少したこと、また、7級職以上の職員比率が高いことも要因である。このため、当該職員を対象とした給料の一律減額措置や昇格抑制の実施により人件費の抑制を進めている状況である。
 物件費については、充実した公共施設の維持管理費に費用がかかっていることから、類似団体と比較して高い水準である。
 施設の統廃合等を推進し、人件費・物件費の抑制に努める。

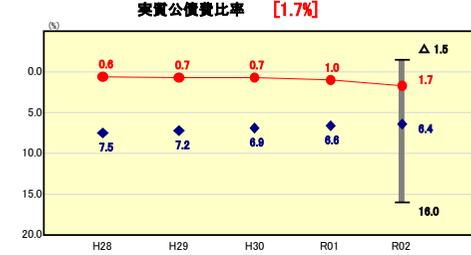
将来負担の状況



将来負担比率の分析欄

令和元年度は、災害対応のために大きく財政調整基金を取り崩したことから将来負担比率が大きくなり上がったが、令和2年度決算では基金の積み増し等により9.6ポイント低下し、7.3%となった。
 今後は庁舎の建替えや公共施設の老朽化対策が予定されており、借入残高が増加見込みであるため、計画的な事業実施により、将来負担の低減に努める。

公債費負担の状況



実質公債費比率の分析欄

実質公債費比率については、前年度と比較して0.7ポイント増となった。これは大型事業(権の森工業団地整備事業等)に係る借入の据置き期間が終了したことなどによるものである。
 類似団体と比較しても良好な数値を維持しているものの、今後は庁舎の建替えに伴う借入の増などにより、実質公債費比率の上昇が見込まれる。

定員管理の状況



人口1,000人当たり職員数の分析欄

本市の臨海部は石油コンビナート等災害防止法に基づく特別防災区域に指定されており、大型化学消防車等の特殊車両の配備が必要となることから、消防部門の職員数が類似団体と比較し多くなっている。また、教育に重点を置いた施策を行っており、公民館、図書館、郷土博物館など充実した教育施設に正規職員を配置し運営していることから、教育部門の職員数も多くなっている。
 今後は、事務事業の見直し、施設の統廃合及び民間活力の導入等の行政改革を積極的に推進するとともに、令和2年度に策定した定員管理方針のもと、業務量の調査や職員の任用形態に応じた業務内容の明確化に取り組み、職員の任用形態別に効果的な配置に取り組み、職員数の抑制に努める。

給与水準 (国との比較)



ラスパイレス指数の分析欄

国家公務員は、学歴による採用区分により昇格や課長級等の管理職への登用が区別されており、高卒者が管理職へ登用される割合は少ない。しかしながら、本市では人事評価を基本とした管理職への登用を行っており、国と比較すると短大卒や高校卒の職員の給料水準が高い傾向にある。他市との比較では7級職以上の管理職の割合が高く、給料水準を引き上げる要因ともなっていることから、7級職以上の職員に対する給料月額削減を実施している。

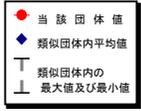
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和2年度

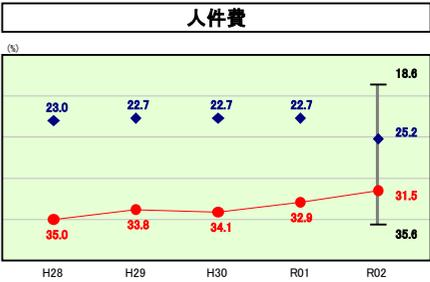
千葉県袖ヶ浦市

経常収支比率の分析

人口	64,940	人(R3.1.1現在)	-	%
うち日本人	64,046	人(R3.1.1現在)	-	%
面積	94.93	k m	1.7	%
歳入総額	34,964,424	千円		
歳出総額	33,581,257	千円		
実質収支	1,070,374	千円		
標準財政規模	15,373,980	千円		
地方債現在高	15,031,255	千円		
実質赤字比率	-			
連結実質赤字比率	-			
実質公債費比率	1.7			
将来負担比率	7.3			
市町村類型	H28 II-2 H29 II-2 H30 II-2			
(年度毎)	R01 II-2 R02 II-2			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 78/82 全国平均 26.8 千葉県平均 29.0

人件費の分析欄
 本市の臨海部は石油コンビナート等災害防止法に基づく特別防災区域に指定されており、大型化学消防車等の特殊車両の配備が必要となることから消防部門の職員数が多くなっている。また、教育に重点を置いた施策を行っており、公民館、図書館、郷土博物館等充実した教育施設に正規職員を配置し運営していることから、教育部門の職員数も多くなっている。
 今後は、事務事業の見直し、施設の統廃合及び民間活力の導入等の行政改革を積極的に推進し、人件費の抑制に努めていく。



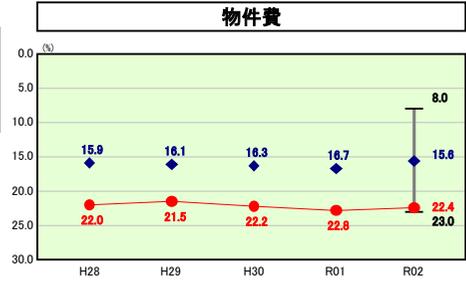
類似団体内順位 41/82 全国平均 12.4 千葉県平均 12.3

扶助費の分析欄
 扶助費の経常収支比率については、前年度と比較して0.6ポイント低下した。
 低下の要因としては、令和元年10月からの保育無償化に伴う国庫補助金の増のほか、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う医療の受診控えなどによるものと考えられる。
 児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉等については上昇傾向が続くと予測しており、数値の低下は一時的なものと捉えている。



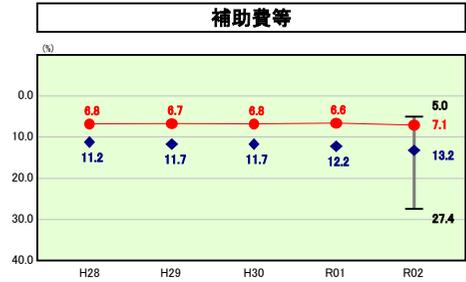
類似団体内順位 5/82 全国平均 16.3 千葉県平均 13.9

公債費の分析欄
 公債費の経常収支比率については、前年度と比較し0.6ポイント上昇したものの、過度な公債費負担とはなっておらず、比率も類似団体平均を大きく下回っている。
 しかしながら、近年の大規模な社会資本整備および庁舎の建替え等により、償還金の増加が見込まれる。



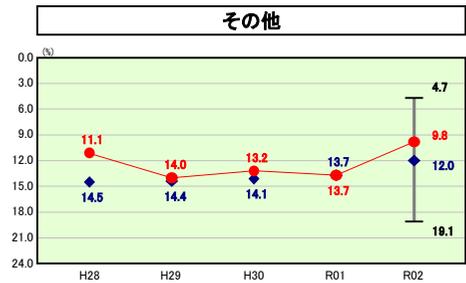
類似団体内順位 81/82 全国平均 14.3 千葉県平均 17.5

物件費の分析欄
 物件費の経常収支比率は、前年度と比較して0.4ポイント低下したものの、依然として類似団体の平均を大きく上回っている。
 これは、ごみの全量搬出委託処理を行っていることや当市の充実した公共施設における指定管理者制度の導入等を含むこれら施設の運営・維持・管理等の外部委託を行っているためである。
 今後も業務委託の内容の見直し等を継続して行い物件費の抑制に努める。



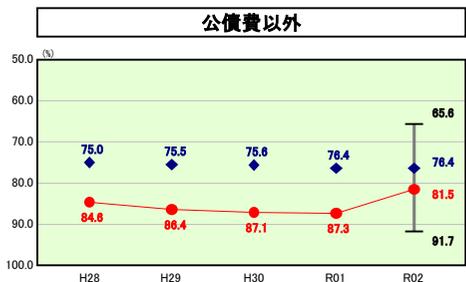
類似団体内順位 8/82 全国平均 10.7 千葉県平均 8.7

補助費等の分析欄
 補助費等の経常収支比率については、下水道事業会計の地方公営企業法適用の影響により前年度と比較して0.5ポイント上昇した。
 引き続き類似団体平均を下回る良好な状況であることから、今後も補助金・負担金について廃止を含めた見直しを定期的を実施することにより、経常経費の削減に努める。



類似団体内順位 13/82 全国平均 12.6 千葉県平均 11.9

その他の分析欄
 その他の経常収支比率については、前年度と比較すると下水道事業の地方公営企業法適用による繰出金の減などにより4.1ポイント低下した。
 今後も繰出金の抑制に努める。



類似団体内順位 70/82 全国平均 76.8 千葉県平均 79.4

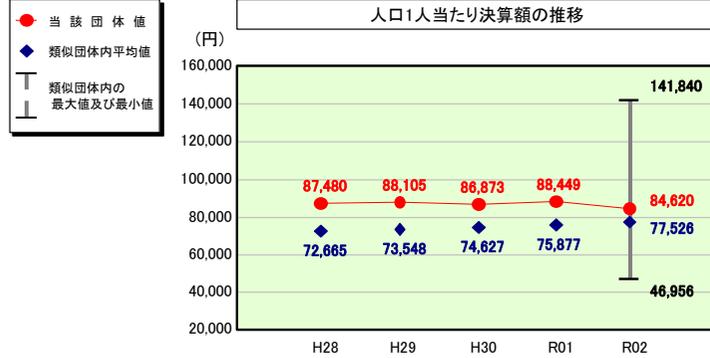
公債費以外の分析欄
 公債費以外の経常収支比率については、前年度と比較し5.8ポイント低下したものの、依然として類似団体平均より高い状況が続いている。
 要因としては、人件費及び物件費の比率が類似団体に比較し高いことが挙げられることから、職員数や職員給与の抑制による人件費の抑制、施設の統廃合等による物件費の抑制を一体的に取り組んでいく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和2年度

千葉県袖ヶ浦市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	5,351,111	82,401	70,597	▲ 16.7
一部事務組合負担金(補助費等)	50,024	770	6,273	▲ 87.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	158,799	2,445	1,314	▲ 86.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	3	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	192,322	2,962	2,424	▲ 22.2
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	71,538	1,102	1,774	▲ 37.9
▲退職金	▲ 328,589	▲ 5,060	▲ 4,858	▲ 4.2
合計	5,495,205	84,620	77,526	9.2

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	8.65	7.31	1.34
ラスパイレズ指数	100.5	98.5	2.0

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

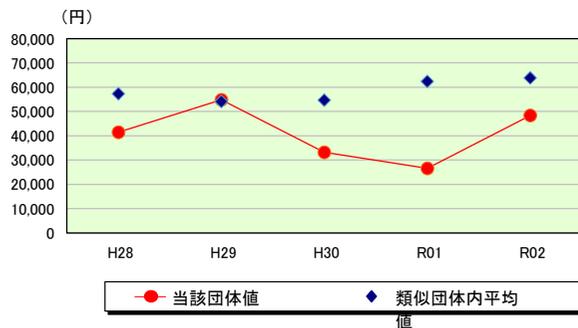


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,348,625	20,767	38,968	▲ 46.7
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	58	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	351,475	5,412	12,321	▲ 56.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	177,517	2,734	1,771	▲ 54.4
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	60,609	933	588	▲ 58.7
一時借入金利子 (同一団体に於ける会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲ 431,528	▲ 6,645	▲ 5,205	▲ 27.7
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,142,526	▲ 17,594	▲ 35,431	▲ 50.3
合計	364,172	5,608	13,072	▲ 57.1

※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H28	2,582,218	41,444	▲ 47.6	57,295	5.7	▲ 53.3
うち単独分	1,147,959	18,425	▲ 50.9	32,771	10.4	▲ 61.3
H29	3,446,194	54,791	▲ 32.2	54,110	▲ 5.6	▲ 37.8
うち単独分	1,643,492	26,130	▲ 41.8	30,620	▲ 6.6	▲ 48.4
H30	2,112,935	33,183	▲ 39.4	54,684	1.1	▲ 40.5
うち単独分	1,232,488	19,356	▲ 25.9	32,829	7.2	▲ 33.1
R01	1,710,549	26,583	▲ 19.9	62,383	14.1	▲ 34.0
うち単独分	1,033,806	16,066	▲ 17.0	35,325	7.6	▲ 24.6
R02	3,141,629	48,377	▲ 82.0	63,812	2.3	▲ 79.7
うち単独分	1,344,247	20,700	▲ 28.8	33,848	▲ 4.2	▲ 33.0
過去5年間平均	2,598,705	40,876	▲ 1.5	58,457	3.5	▲ 2.0
うち単独分	1,280,398	20,135	▲ 4.6	33,079	2.9	▲ 7.5

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和2年度

千葉県袖ヶ浦市

人口	64,940	人(R3.1.1現在)	実質赤字比率	-	96
うち日本人	64,046	人(R3.1.1現在)	道徳実質赤字比率	-	96
面積	94.93	km ²	実質公債費比率	1.7	96
歳入総額	34,964,424	千円	将来負担比率	7.3	96
歳出総額	38,681,257	千円	市町村類型	H28 II-2 H29 II-2 H30 II-2 H01 II-2	
実質収支	1,070,374	千円	(年度毎)	R01 II-2 R02 II-2	
標準財政規模	15,373,980	千円			
地方債現在高	15,031,255	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析値

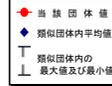
住民一人当たりのコストについては、人件費や物件費が類似団体内平均よりも高い水準となっており、普通建設事業費(うち更新整備)や公債費が類似団体よりも低い水準となっている。
 普通建設事業費については、今後、庁舎整備により大きく増加することが見込まれる。
 扶助費は類似団体平均と比較しても低い水準であったが、高まる保育ニーズへの対応等により増加傾向であり、類似団体平均を上回った。
 公債費についても過年度に実施した大規模な社会資本整備で活用した地方債の償還が始まっている。今後、庁舎整備に係る償還も含め、増加が見込まれる。
 今後は上記のとおり扶助費、普通建設費等の増が見込まれているため、それに対応するために人件費や物件費等の抑制に取り組む。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

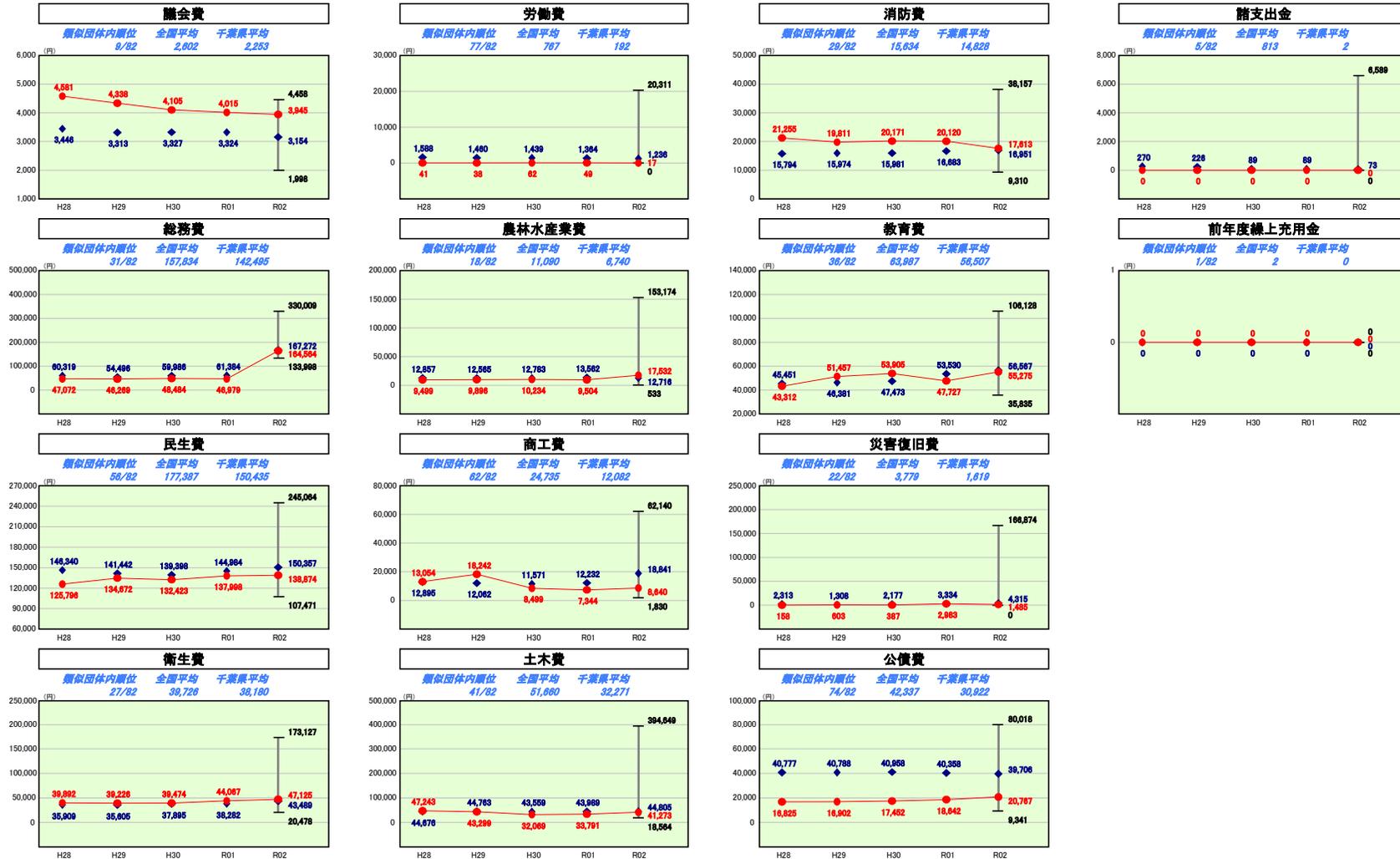
令和2年度

千葉県袖ヶ浦市

人口	64,940	人(R3.1.1現在)	実収赤字比率	-	96
うち日本人	64,046	人(R3.1.1現在)	道庁実収赤字比率	1.7	96
面積	94.83	km ²	実収公債比率	7.3	96
歳入総額	34,964,424	千円	将来負担比率	H28 II-2 H29 II-2 H30 II-2 H01 II-2	
歳出総額	38,681,257	千円	市町村類型	R01 II-2 R02 II-2	
実収収支	1,070,374	千円	(年度毎)		
標準財政規模	15,373,980	千円			
地方債現在高	15,031,255	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析概

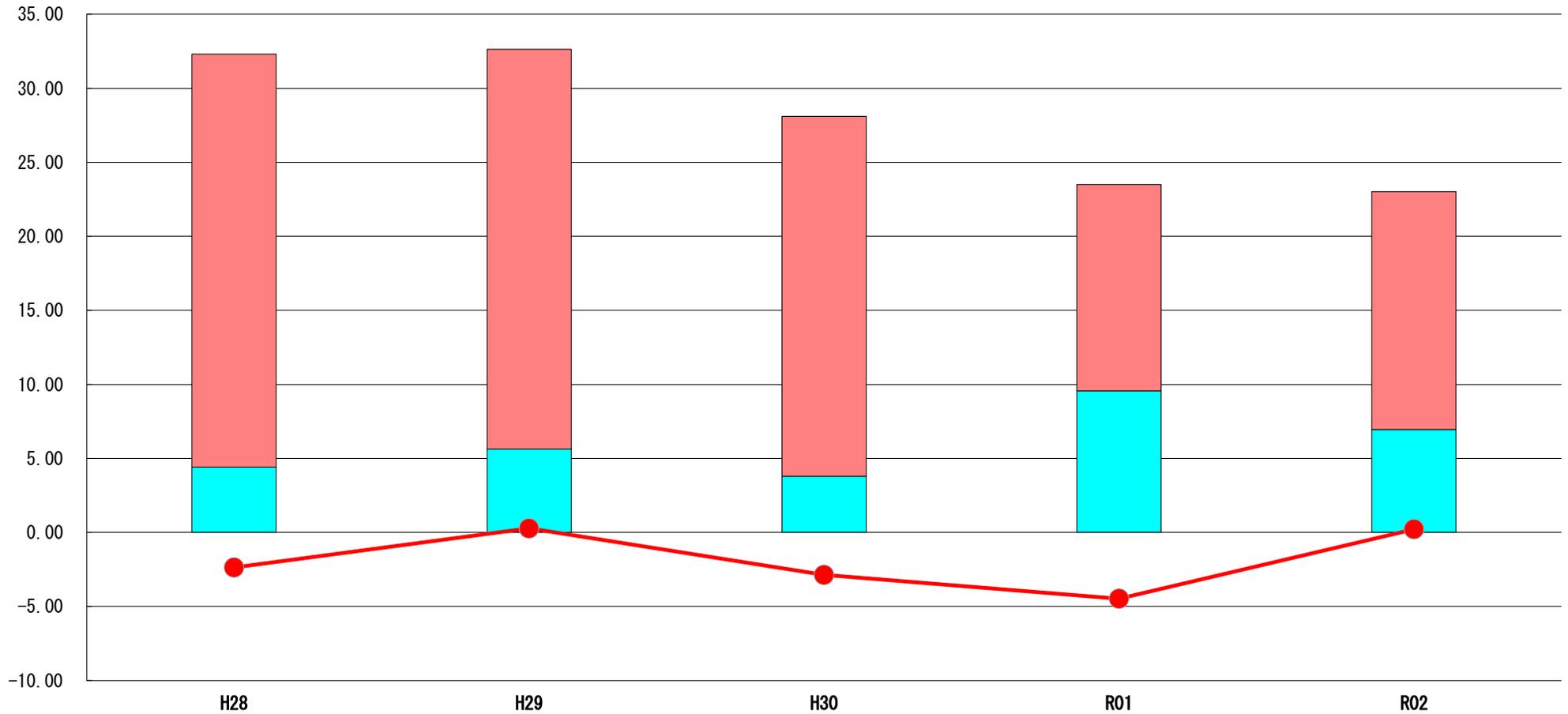
公債費については低い水準にあるが、庁舎整備等に伴い今後増加する見込みである。
 消防費については、職員の退職が多かったため低下したが、本市の臨海部が石油コンビナート等特別防災区域に指定されており、消防部門の職員数も多く、類似団体の平均を上回っている。
 民生費については、近年上昇傾向であり、今後も、保育や障害福祉ニーズの増加により上昇が継続するものと見込まれる。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)

令和2年度

千葉県袖ヶ浦市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H28	H29	H30	R01	R02
 財政調整基金残高		27.89	27.01	24.32	13.94	16.07
 実質収支額		4.42	5.63	3.79	9.57	6.96
 実質単年度収支		▲ 2.37	0.27	▲ 2.87	▲ 4.48	0.21

分析欄

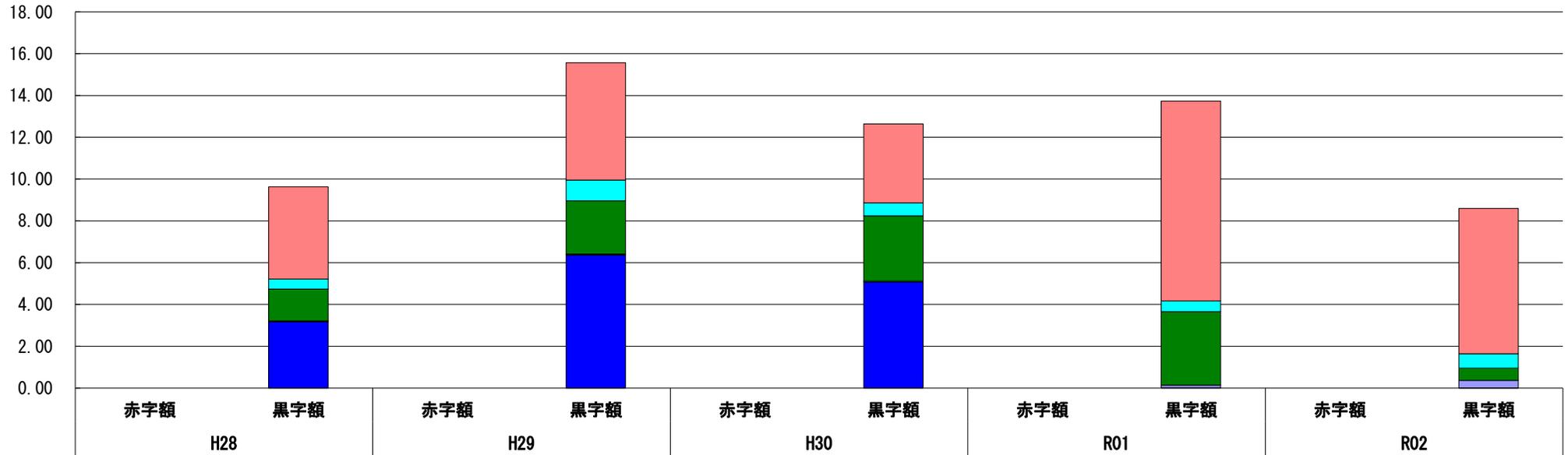
財政調整基金残高については、令和元年度の台風災害対応のため大きく減少したが、令和2年度は堅調な市税収入を背景に積み立てを行った。
 実質単年度収支についても、黒字に転じた。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和2年度

千葉県袖ヶ浦市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H28	H29	H30	R01	R02
一般会計		4.41	5.62	3.78	9.56	6.96
袖ヶ浦市介護保険特別会計		0.49	0.99	0.62	0.51	0.69
袖ヶ浦市国民健康保険特別会計		1.52	2.54	3.12	3.52	0.58
袖ヶ浦市下水道事業会計		0.03	0.04	0.03	0.12	0.36
袖ヶ浦市後期高齢者医療特別会計		0.01	0.01	0.01	0.00	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		3.17	6.37	5.08	0.02	-

分析欄

連結実質赤字比率については、いずれの会計においても赤字額はなく、標準財政規模比の黒字額も安定しており、問題のない状況である。

各特別会計とも使用料、保険料等の適正水準への引き上げ・維持を図り、健全運営に努めていく。

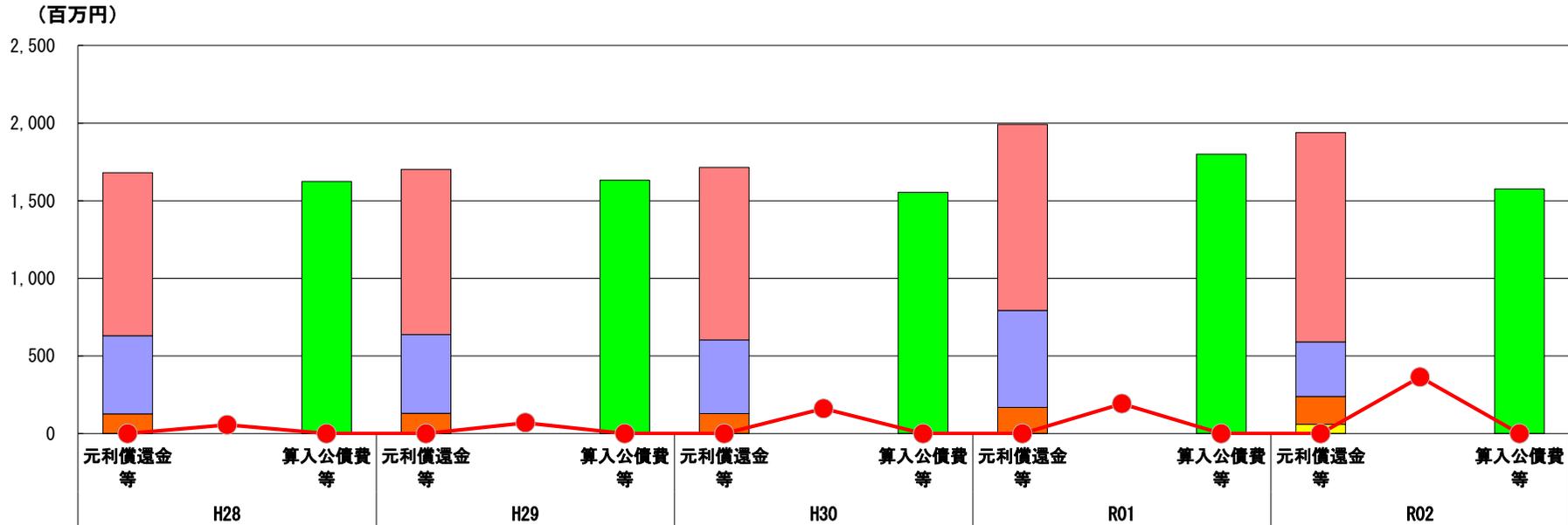
その他会計については、袖ヶ浦市水道事業会計のことであり、令和元年度から袖ヶ浦市の水道事業としてではなく、かずさ水道広域連合企業団で水道事業を実施しているため、連結対象外となった。

※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和2年度

千葉県袖ヶ浦市



(百万円)

分子の構造		年度	H28	H29	H30	R01	R02
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,050	1,065	1,111	1,200	1,349
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		502	506	475	624	351
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		128	131	129	169	178
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	61
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,624	1,632	1,554	1,800	1,575
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		56	70	161	193	364

分析欄

実質公債費比率については、現時点では過度な数値とはなっていない。
 近年、大規模な社会資本整備事業を実施し、庁舎の建替えも始まっていることから、今後は、元利償還金及び起債残高の更なる増加が見込まれるが、事業の計画的執行に努め、単年度における元利償還金を平準化するよう努めていく。

※1 令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考)

		年度	H27末	H28末	H29末	H30末	R01末
※2 減債基金積立状況等	減債基金残高(注)		-	-	-	-	-
	減債基金積立相当額		-	-	-	-	-

分析欄

今後の償還額の増に対応するため、今後は積立を検討する。

(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。

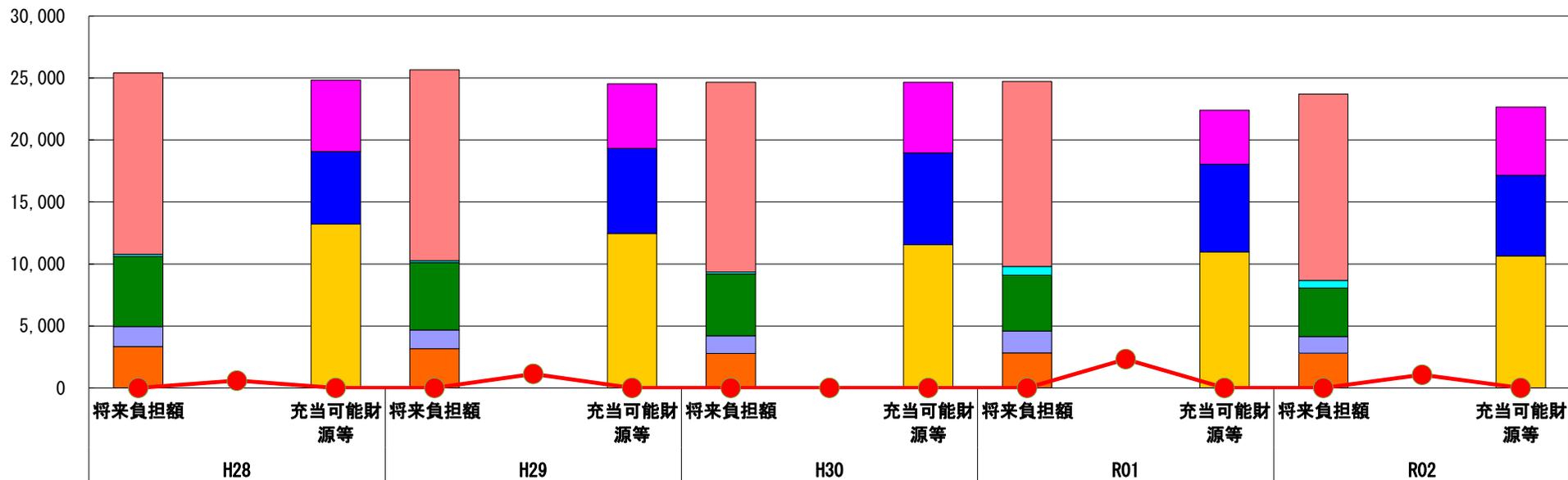
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和2年度

千葉県袖ヶ浦市

(百万円)



(百万円)

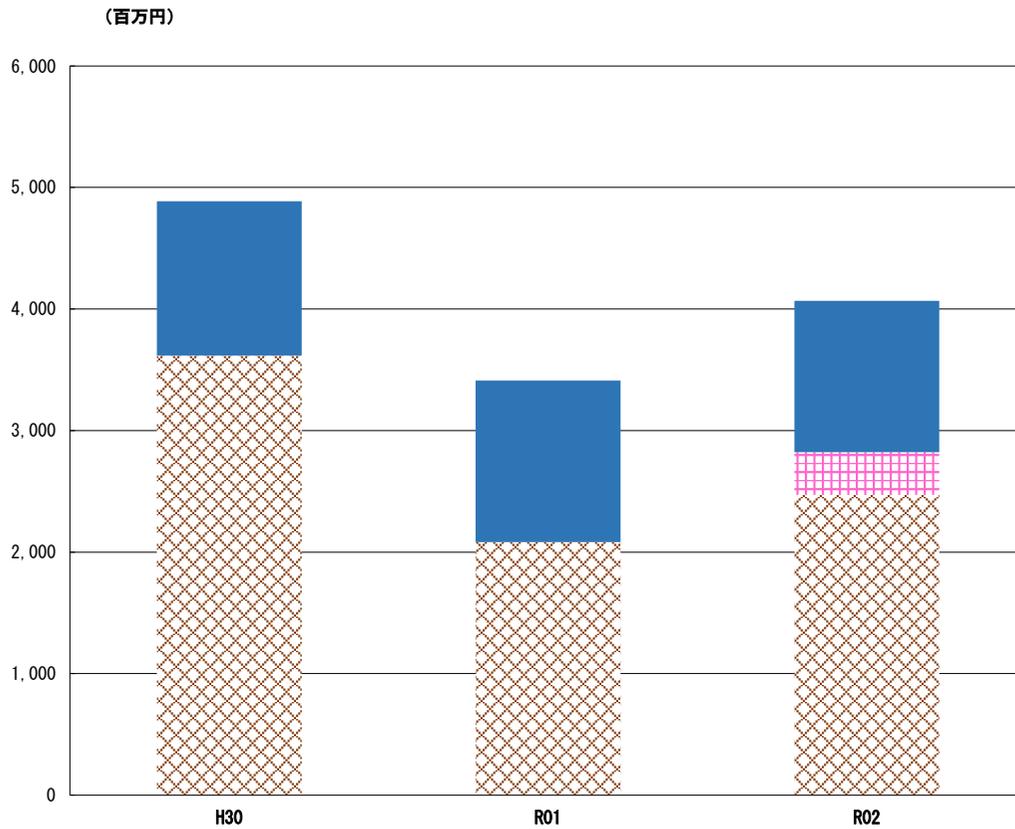
分子の構造		年度	H28	H29	H30	R01	R02
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		14,643	15,404	15,320	14,933	15,031
	債務負担行為に基づく支出予定額		151	151	136	696	618
	公営企業債等繰入見込額		5,668	5,433	5,005	4,497	3,912
	組合等負担等見込額		1,613	1,520	1,429	1,766	1,342
	退職手当負担見込額		3,335	3,156	2,773	2,833	2,804
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		5,745	5,203	5,693	4,364	5,508
	充当可能特定歳入		5,858	6,870	7,398	7,069	6,502
	基準財政需要額算入見込額		13,222	12,459	11,573	10,975	10,646
(A) - (B)	将来負担比率の分子		583	1,132	▲ 3	2,317	1,052

分析欄

将来負担額については、引き続き適正な範囲内の額となっている。
 今後、庁舎整備等による将来負担額の増が見込まれていることから、将来負担額が過度にならないよう起債を管理し、併せて充当可能基金の額を維持していく必要がある。

※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



基金全体

(増減理由)
 堅調な市税収入等を背景に、財政調整基金、市債管理基金の積み立てを行い、全体として6億5千6百万円の増加となった。

(今後の方針)
 市単独の経常経費の削減に取り組み、財政調整基金について現在の水準を維持していくとともに、市債管理基金の積立及び取崩を計画的に行い、庁舎整備等に伴う公債費の増加に対応していく。

財政調整基金

(増減理由)
 堅調な市税収入等を背景に、約3億9千万円積み立てた。

(今後の方針)
 令和元年度の台風災害対応のための取崩を含め、減少傾向にあったことから、市単独の経常経費の削減に取り組み、現在の水準を維持していく。

減債基金

(増減理由)
 庁舎整備に伴う公債費の上昇に備えるため、3億5千万円積み立てた。

(今後の方針)
 起債残高の増、償還金の増が見込まれているため、安定した財政運営のために積立及び取崩を計画的に行う。

その他特定目的基金

(基金の使途)
 庁舎整備基金：袖ヶ浦市庁舎の整備に要する資金に充てる。
 社会福祉基金：児童、母子、心身障害者（児）、老人、低所得者等の福祉の増進を図るために必要な経費の財源に充てる。
 教育施設整備基金：教育施設の整備に要する資金に充てる。
 災害救助基金：災害救助の財源に充てる。
 袖ヶ浦駅北側整備基金：袖ヶ浦都市計画事業袖ヶ浦駅海側特定土地区画整理事業及びこれに関連する事業の資金に充てる。

(増減理由)
 教育施設整備基金：小中学校のトイレ改修工事のため、1千8百万円取り崩した。
 袖ヶ浦駅北側整備基金：都市公園整備等のため、6千9百万円取り崩した。

(今後の方針)
 庁舎整備基金：庁舎整備のために取り崩し予定
 教育施設整備基金：小学校の増築等のため取り崩し予定

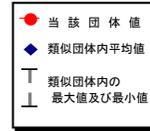
区分	年度	H30	R01	R02
財政調整基金		3,616	2,081	2,471
減債基金		1	1	351
その他特定目的基金		1,270	1,329	1,245
庁舎整備基金		450	600	600
社会福祉基金		320	315	315
教育施設整備基金		268	219	201
災害救助基金		80	55	56
袖ヶ浦駅北側整備基金		125	110	41
基金残高合計		4,887	3,411	4,067

(12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

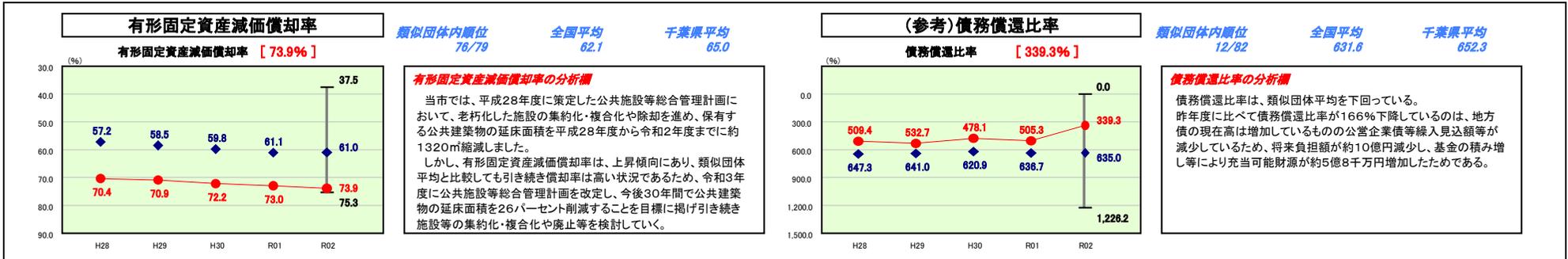
令和2年度

千葉県袖ヶ浦市

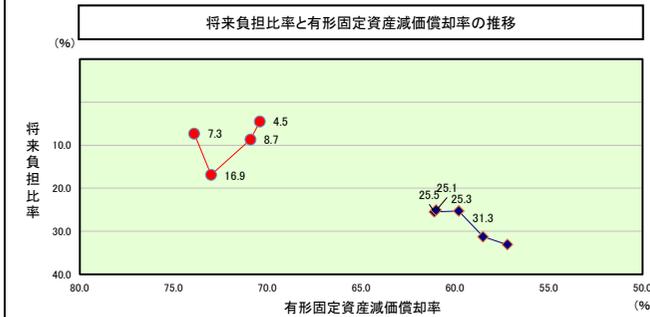
人口	64,940	人(R3.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	64,046	人(R3.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	94.93	km ²	実質公債費比率	1.7	%
歳入総額	34,964,424	千円	将来負担比率	7.3	%
歳出総額	33,581,257	千円	市町村類型	H28 II-2 H29 II-2 H30 II-2	
実質収支	1,070,374	千円	(年度毎)	R01 II-2 R02 II-2	
標準財政規模	15,373,980	千円			
地方債現在高	15,031,255	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※ 令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出してない団体については、債務償還比率、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

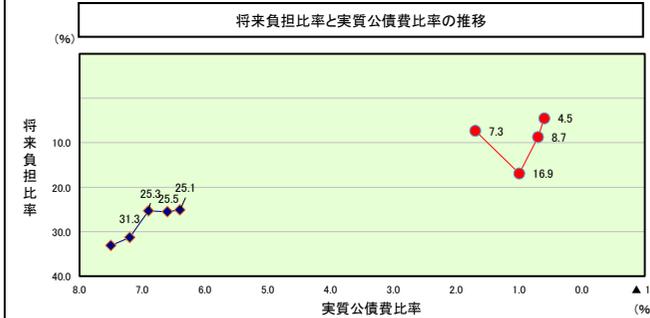


分析欄
 将来負担比率については、令和元年度は、災害対応のために大きく財政調整基金を取り崩したことから大きく上昇したが、令和2年度では基金の積み増し等により9.6ポイント低下し、7.3%となった。
 一方で、有形固定資産減価償却率は類似団体より高いため、公共施設等総合管理計画に基づき、今後、老朽化対策に積極的に取り組んで行く必要があると考える。

(参考)

		H28	H29	H30	R01	R02
当該団体値	将来負担比率	4.5	8.7	-	16.9	7.3
	有形固定資産減価償却率	70.4	70.9	72.2	73.0	73.9
類似団体内平均値	将来負担比率	33.1	31.3	25.3	25.5	25.1
	有形固定資産減価償却率	57.2	58.5	59.8	61.1	61.0

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



分析欄
 将来負担比率については類似団体と比較して低い水準である。実質公債費比率は類似団体と比較して低い水準にあるが、近年微増傾向である。これまでの大規模な社会資本整備事業(工業団地整備事業や小学校増築事業等)の実施や、庁舎整備事業の開始等により、今後更なる起債借入及び償還額の増加が見込まれ、実質公債費比率が上昇していくことが考えられるため、これまで以上に公債費の適正化に取り組んでいく必要があると考える。

(参考)

		H28	H29	H30	R01	R02
当該団体値	将来負担比率	4.5	8.7	-	16.9	7.3
	実質公債費比率	0.6	0.7	0.7	1.0	1.7
類似団体内平均値	将来負担比率	33.1	31.3	25.3	25.5	25.1
	実質公債費比率	7.5	7.2	6.9	6.6	6.4

(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

令和2年度

千葉県袖ヶ浦市

人口	84,940	人(83.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	84,046	人(83.1.1現在)	道徳実質赤字比率	-	%
面積	84.83	km ²	実質公債費比率	1.7	%
歳入総額	34,984,424	千円	将来負担比率	7.3	%
歳出総額	33,581,257	千円	市町村類型	H28 II-2 H29 II-2 H30 II-2	
実収収支	1,070,374	千円	(年度毎)	R01 II-2 R02 II-2	
標準財政規模	16,378,980	千円			
地方債残高	15,031,255	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。

【道路】
有形固定資産減価却率



【道路】
一人当たり延長



【認定こども園・幼稚園・保育所】
有形固定資産減価却率



【認定こども園・幼稚園・保育所】
一人当たり面積



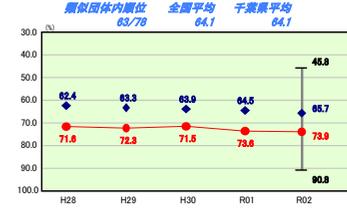
【橋りょう・トンネル】
有形固定資産減価却率



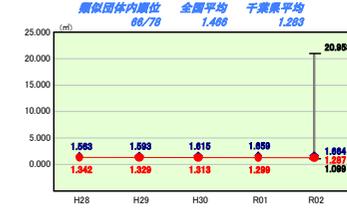
【橋りょう・トンネル】
一人当たり有形固定資産(償却資産)額



【学校施設】
有形固定資産減価却率



【学校施設】
一人当たり面積



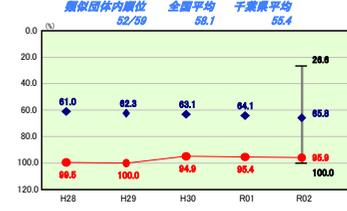
【公営住宅】
有形固定資産減価却率



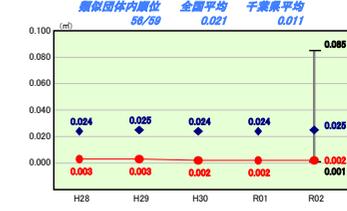
【公営住宅】
一人当たり面積



【児童館】
有形固定資産減価却率



【児童館】
一人当たり面積



【港湾・漁港】
有形固定資産減価却率



【港湾・漁港】
一人当たり有形固定資産(償却資産)額



【公民館】
有形固定資産減価却率



【公民館】
一人当たり面積



施設情報の分析圖

公民館以外のすべての類型において、有形固定資産減価却率が類似団体と比較して高くなっている。
 児童館については、昭和63年に建築したものであり、築30年が経過しており老朽化が進んでいる。公共施設等総合管理計画において、他施設への機能移転も含め、施設の移管や廃止を検討している。

(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

令和2年度

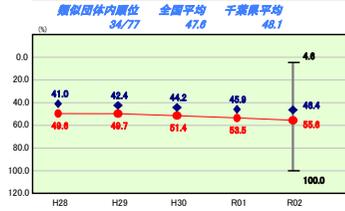
千葉県袖ヶ浦市

人口	84,940	人(83.1.1現在)	実業者比率	-	%
うち日本人	84,046	人(83.1.1現在)	運輸実業者比率	-	%
面積	84.83	km ²	実業公債費比率	1.7	%
歳入総額	34,964,424	千円	得業負担比率	7.3	%
歳出総額	33,581,257	千円	市町村類型	H28 II-2 H29 II-2 H30 II-2 H01 II-2	
実収支	1,070,374	千円	(年度毎)	R01 II-2 R02 II-2	
標準財政規模	16,378,960	千円			
地方債残高	15,031,255	千円			

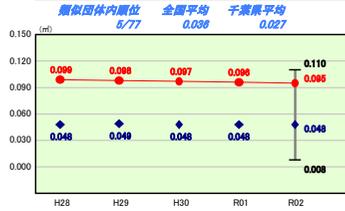


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。

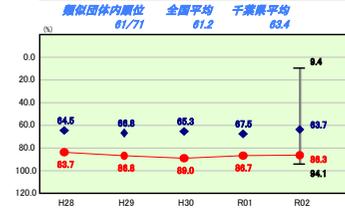
【図書館】
有形固定資産減価償却率



【図書館】
一人当たり面積



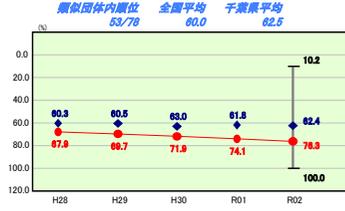
【一般廃棄物処理施設】
有形固定資産減価償却率



【一般廃棄物処理施設】
一人当たり有形固定資産(償却資産)額



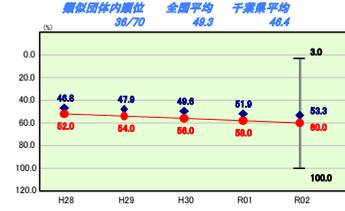
【体育館・プール】
有形固定資産減価償却率



【体育館・プール】
一人当たり面積



【保健センター・保健所】
有形固定資産減価償却率



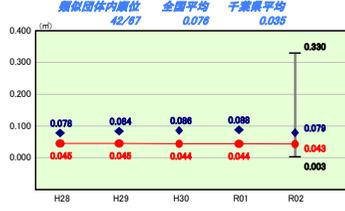
【保健センター・保健所】
一人当たり面積



【福祉施設】
有形固定資産減価償却率



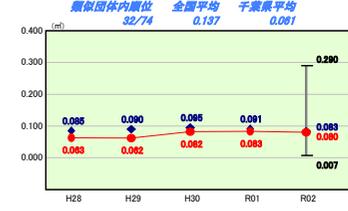
【福祉施設】
一人当たり面積



【消防施設】
有形固定資産減価償却率



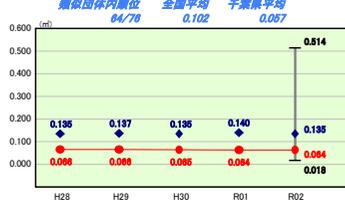
【消防施設】
一人当たり面積



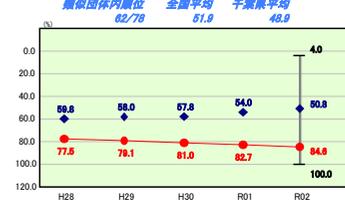
【市民会館】
有形固定資産減価償却率



【市民会館】
一人当たり面積



【庁舎】
有形固定資産減価償却率



【庁舎】
一人当たり面積



施設情報の分析

すべての類型において、有形固定資産減価償却率は類似団体を上回っている。
 福祉施設については、社会福祉センター、福祉作業所と老人福祉会館がある。社会福祉センターは平成3年建築、福祉作業所は平成3年建築と平成12年建築、老人福祉会館は昭和52年建築であり、施設の老朽化が進んでいる。公共施設等総合管理計画において、地域福祉活動の拠点施設として設置されている社会福祉センターについては、適正な維持管理、計画的な改修等により長寿命化を図っていくこととする。障がい者の自立した生活を支援するための施設として設置されている福祉作業所と高齢者の憩いの場として設置されている老人福祉会館については、現在の利用状況や今後の動向、また施設の老朽化を踏まえ、今後のあり方を検討していくこととする。
 庁舎については、南庁舎が昭和45年建築、中庁舎が昭和55年建築であり、耐震性が低く倒壊もしくは著しい損傷の恐れがある。公共施設等総合管理計画において、南庁舎は耐震性能やバリアフリー化など、改修工事では問題点を根本的に解決することが困難であるため建て替えることとし、中庁舎は耐震補強と大規模改修により長寿命化を図ることとしている。また激甚化する自然災害などから市民の生命・財産を守るための防災拠点とするため、新たに新庁舎を建築することとしている。建替え、大規模改修や新築することにより、有形固定資産減価償却率は低くなる見込みであり、今後の維持管理費用も減少を見込んでいる。